

韓国・国民大学 JIP 報告書

言語教育研究科・日本語コース 荒川望実

外国語学科・日本語専攻 徳留美来

派遣先：韓国（ソウル）

派遣期間：3週間（2012年3月11日～31日）

費用：航空費 約 65,000 円
保険料 約 10,000 円
宿泊費 約 45,000 円
生活費 約 40,000 円（含交通費、観光費）

計約 160,000 円



*航空費・保険料・宿泊費・国内交通費は国際交流基金から支援してもらった。
実費は生活費の約 40,000 円のみ。

1. 受入期間の状況

- (1) 受入大学・学部学科名：国民大学校・国際学部・日本学科
- (2) 日本語教師数：3名（内1名は日本人）
- (3) クラス数：8クラス+ α （現代日本政治の理解、日本社会の変動と持続、等日本の文化に関する授業も行われていた）

2. 出席した授業

	9:00 ~ 10:15	10:30 ~ 11:45	12:00 ~ 13:15	13:30 ~ 14:45	15:00 ~ 16:15	16:30 ~ 17:45
月		日本語会話 I - 02			日本語会話 III - 01	日本語会話 III - 02
火		日本語 III - 02				
水				日本語 I - 01		
木		日本語会話 I - 01		日本語会話 III - 02		

金		日本語 Ⅲ - 01		日本語 I - 02		
---	--	---------------	--	---------------	--	--

- …日本人の教師により全て日本語で行われる
- …韓国人の教師により全て韓国語で行われる
- …韓国人の教師により 8割日本語・2割韓国語で行われる

3. 実習を行った授業

	9:00 ~ 10:15	10:30 ~ 11:45	12:00 ~ 13:15	13:30 ~ 14:45	15:00 ~ 16:15	16:30 ~ 17:45
月					日本語会話 Ⅲ - 01	日本語会話 Ⅲ - 02
火						
水				日本語 I - 01		
木		日本語会話 I - 01				
金		日本語 Ⅲ - 01				

実習のコマ数：5コマ

総時間数：約5時間半

日本語会話Ⅲ-01、02(中級) 各1時間15分 生徒数15名程度

<実習内容>クラスを半分に分け、実習生1名と学生8名程度で、韓国と日本の文化や生活習慣の違い等を自由に話し合う。

日本語 I-01(初級) 15分程度 生徒数11名

<実習内容>い形容詞・な形容詞の活用練習
韓国語で日本の文化紹介

日本語会話 I-01(初級) 1時間15分 生徒数14名

<実習内容>オノマトペ導入、練習、ゲーム

日本語Ⅲ-01(中級) 1時間程度 生徒数13名

<実習内容>日韓中間の食事のマナーについてディスカッション。



4. 授業以外の活動状況

・ シンポジウムへの参加

『韓国における日本研究・日本における韓国研究』を聴講した。通訳があったので、日本人・韓国人どちらの発表も聞くことができた。

・ 学生との交流

放課後や週末には、学生がソウルを案内してくれた。大学生がよく遊ぶ場所や伝統的な町、ソウルタワー、若者が遊ぶアトラクションなどソウルのいろいろな所に連れていってくれた。

コミュニケーションが日本語でしか出来なかったが、辞書を片手に一生懸命韓国について教えてくれ、また日本語や日本のことを教え、良い交流ができた。



・ 国際文化センター日本語クラスへの参加

日本語の先生の紹介で、金浦空港のロッテモールの中にある国際文化センターの日本語のクラスに参加させていただいた。大学のクラスとは違い、様々な年齢層の人が日本語を学習しており、いろいろなことを学ぶことができた。

また、授業後には学習者と昼ご飯を一緒に食べ、交流をすることができた。

5. 生活

(1) ゲストハウス

ゲストハウス名 : Golden Pond Guest House

最寄り駅 : 蕙化 (ヘファ)

去年と同様に学校の中にあるゲストハウスだと思っていたら、全く別のゲストハウスを用意されていた。学校へはバスに乗って 20~25 分かかる場所にあった。

部屋はオンドル付のワンルームで、ベッド・テレビ・暖房設備・ドライヤーがあり、無線 LAN が繋がっていたので部屋でもインターネットが使用できた。しか

し、バストイレが共同で不便を感じた。また、共同スペースにはキッチン・冷蔵庫・洗濯機・乾燥機・パソコンがあり、自由に使うことができた。

ゲストハウスは街中にあり、駅にも近かったので買い物や外食などには便利な場所であったが、毎日の通学のことを考えると去年のように大学内のゲストハウスの方が良かったのではないかと思った。



(2) 学校までのアクセス

- ・ゲストハウスから学校まで（行き）…バスを利用
バス（171）で 20 分～25 分
1200W 程度
- ・学校からゲストハウスまで（帰り）…バスと電車を利用
学校からバス（153）でキルム駅まで約 10 分
キルム駅から地下鉄で蕙化駅まで約 10 分

*T-money カード

地下鉄・バスなどで利用できるチャージ式の交通カード。地下鉄窓口や地下鉄に設置してある機械、またコンビニで購入できる。バスから地下鉄に乗り換えても、このカードを使用すると追加料金がかからない。

*タクシー利用の場合だと（片道）約 15 分で 5000W 程度

6. 空港からのアクセス

<実際に利用した交通手段>

金浦空港からキルム駅	リムジンバス（6100）	7000W	1 時間弱
キルム駅からゲストハウス	タクシー	6000W	15 分程度

<他の交通手段>

金浦空港—ソウル駅—蕙化駅 2000W 程度
金浦—ソウルは空港鉄道 A'REX で 20 分
ソウル—蕙化は、地下鉄電車 4 番線で 6 駅

7. JIP を終えて

正直着いて初めて先生と話したときに、何も受け入れ態勢が整っていなかったもので、3 週間有意義な実習ができるか不安でした。しかし、どの先生方も優しく迎え入れてくれ、最後の週には、実習する機会をいただきました。本当に感謝しています。

韓国では、日本以上に先生と生徒の関係がはっきりしています。私たちは学生たちに先

生として紹介されていたので、最初のうちはなかなか積極的に話しかけてくれる学生が少なく、学生との距離が縮まりませんでした。しかし、授業見学や実習を重ねる上で、徐々に学生たちと接する機会も増え、韓国の文化や習慣、韓国の大学生の考え方や生活スタイルなどたくさんを知ることができました。また、辞書を片手に放課後や週末にソウル市内を案内してくるなど、次第に学生との交流も増え、互いに刺激を受けることが出来ました。学生たちは、日本語以外にも様々なことを質問してくれました。私も知らないことがたくさんあり、日本語教師は、日本語を教えるだけでなく、日本の文化、政治、経済、歴史、スポーツなどあらゆる知識が問われる職業だと身を持って感じました。

また実習では、今までに学習者相手に授業をした経験がなかったのでとても緊張しました。ほとんどの実習が自由にしてよいとの事だったので、教科書を使っての実習はしませんでした。その分授業しやすいテーマを取り入れました。実際に授業をして、私自身授業を進めることに必死でしたが、学生たちも協力してくれたおかげで楽しく授業をすることができました。

今回 JIP に参加して、本当にたくさんのことを学び、貴重な体験をすることができました。お世話になった先生方、仲良くしてくれた学生たちに、感謝の気持ちでいっぱいです。
(荒川)

今までは授業内での模擬授業しかしたことがなく、今回実際に日本語教育の現場に立つことができ、本当に良い経験となった。日本語教育の現場を自分の目で見、肌で感じることができ、海外での実習だからこそ学べたということがとてもたくさんあった。

東日本大震災以降日本に対する見方や考え方が変わったという学生もおり、日本語を勉強したことを後悔しているということも言われたこともあったが、今だからこそもっと日本語を頑張って勉強したいと思っていると言ってくれる学生もいた。日本語を学ぶ韓国の学生の本音というものを聞いた気がして、少し悲しい気持ちはしたが嬉しかった。

しかし、今回の JIP の感想を単純に「良かった」と言うことは私にはできない。国民大で JIP そのものを見直す必要があるのではないかと感じる部分が多くあったからである。初日から大変なことがたくさんあり心が折れそうになったことは事実だが、良い経験ができたことには間違いはない。この 3 週間で精神的に強くなれたような気がし、今後の人生にプラスになるであろう経験がたくさんできたことを本当に嬉しく思う。また今までのんびりとしかやってこなかった韓国語の勉強も、もっともっと頑張ってやっていきたいと思うようになった。

本当に良い経験ができた 3 週間だったので感謝の気持ちでいっぱいだが、次年度参加する後輩たちのためにも改善し得るところは改善していただきたいと考えている。

(徳留)